

鍋島正慶

NABESHIMA, Tadanori

ご専門：患者意思決定支援，臨床倫理，人工呼吸
読者へ：温故知新．今年から大学院に入り，理論が開発された経緯をひもとくと理解が深まると感じています．古き良きPCVを体得することで，人工呼吸器が目指している患者の快適性や治療による害を最小限にすること，そして今の限界を実感できれば幸いです．

道越淳一

MICHIKOSHI, Junichi

ご専門：呼吸療法，急性血液浄化，集中治療，医療機器管理

読者へ：医療機器を取り扱う臨床工学技士はその特徴と性能を十分に理解し，患者と向き合うことが大切です．同時に，臨床での疑問や問題点を検証することが必要で，その答えは誰かに教えてもらうのではなく，自らの手で導き出していくことが必要です．



相嶋一登

AISHIMA, Kazuto

ご専門：集中治療，呼吸療法，医療安全管理，病院経営

読者へ：呼吸療法は臨床工学技士業務のなかでもっとも対象患者が多く，かつ活動範囲が広い領域です．また，医療安全の確保のために臨床工学技士が貢献できる分野でもあります．そのため，すべての業務の基礎になると考えています．血液浄化や体外循環，不整脈領域，手術室領域などでご活躍の皆様にもぜひ，呼吸療法に興味をもっていただきたいと考えています．



[特集]

呼吸管理 上級編2020